

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 424

事務事業名	新幹線建設負担金事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	都市計画課(新幹線まちづくり推進室)		
課長名	木村 政市	内線	158
担当者名	杉本 翔太	内線	601

基本目標	050102	機能的で環境と調和したまち
政策		コンパクトで暮らしやすいまちづくり
施策		新幹線を活かしたまちづくり
関連施策		

会計	一般会計	
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費
事業コード	220200	新幹線建設負担金事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉・長崎間)		
意図	九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の開業により、長崎県の産業振興や人・物・情報の交流による社会、経済、文化活動の活性化を図り、県民の交通の利便性を高めることを目的とする。		
事業概要	九州新幹線西九州ルート(武雄温泉・長崎間)のうち、都市計画用途地域及び公共下水道計画区域の区間(7km)における建設工事に要する費用に係る地方負担額を支出する。 ■負担割合 ・国2/3 ・県1/3 (県負担分の10%を市が負担) ■上記以外の区間については全額長崎県が負担		
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 34 年度	実施方法	その他

成果指標名	乗車時間			算定式等 乗車距離(博多~大村)/乗車速度=乗車時間
着手前現状値	平成 20 年度	単位	分	
完了後計画値	平成 34 年度			

【DO(実施)】

事業実施項目		25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額								
	項目別進捗率								
実施設計	実績・計画額								
	項目別進捗率								
用地・補償	実績・計画額								
	項目別進捗率								
建設工事	実績・計画額	237,529	40,643	112,080	336,567	267,375	235,084	172,929	1,467,000
	項目別進捗率	16.19%	18.96%	26.60%	49.54%	67.77%	83.80%	95.58%	
事務費等	実績・計画額								
	項目別進捗率								
合計	実績・計画額	237,529	40,643	112,080	336,567	267,375	235,084	172,929	
	項目別進捗率								

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	66,552	40,643	112,080	287,963	336,567	235,084	172,929	1,467,000
国庫支出金								
県支出金								
地方債	59,800	36,500	100,800	259,100	302,900	211,500	155,600	1,319,800
その他								
一般財源	6,752	4,143	11,280	28,863	33,667	23,584	17,329	147,200
② 人件費(千円)	1,113	1,134	1,098	1,163	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.14	0.15	0.15	0.15				
時間外勤務(時間)			20	36				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	67,665	41,777	113,178	289,126				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	新幹線建設負担金の情報(工事の進捗状況など)について長崎県新幹線事業対策室と随時、連絡を行い事業を推進した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	国策によって実施される事業ではあるが、新幹線の開業は大きな経済波及効果が見込まれ、地域の活性化が期待されるため負担金の支出は妥当である。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新幹線の開業は、長崎県の社会・経済・文化活動の活性化における、起爆剤として大いに期待されており早急に整備する必要がある。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	新たな高速体系が充実することで、西九州地域と中四国・関西方面との交流人口が拡大し、観光だけでなく、さまざまな産業が活発となり地域経済の活性化が期待される。						
	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	コスト削減には、事業主体である「(独)鉄道・運輸機構」において十分配慮を行い事業を実施している。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
県と市の負担割合について、双方合意の上、協定書の締結がなされており見直しの余地はない。							

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	国の整備新幹線整備事業に基づき、計画的に実施される事業であり、継続して事業を実施する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	新幹線整備事業の推進が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。